

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成27年10月16日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 江西学区連合町内会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者氏名 会長 藤原 和 幸

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	いきいき江西学区第4回 学園都市:生徒と住民のふれあい祭
事業実施区域(小学校区)	岡山市東区江西学区
①事業実施内容	
実施日時	平成27年9月19日(土) 10:00~15:00
場所	岡山市東区瀬戸町江尻1100 瀬戸町江尻レストパークドーム広場
内容	江西学区連合町内会が主催し、学区内各種団体が後援、支援、協力のもとに実施した。又、報道関係の後援、企業の協賛もあり大きな推進母体が出来た。学区内の保育園から大学校まで9校、園がステージ活動を展開した。これに加え、警察署の寸劇、地元のダンス同好会、愛育委員会員の市民体操も加わり計12団体が演舞など披露した。 会場周辺には地元町内会が15のテント村を開設、飲食関係、地元の野菜など、特産品の販売を行った。又、これに、閑谷ワークセンター、岡山瀬戸高等支援学校、民生委員会、愛育委員会、栄養委員会のテントも加わり、地域包括支援センター、行政相談、人権相談も同席、平素の活動内容について広報活動を行った。また、消防団は、記念撮影や子供の体験乗車も行った。 開催に至るまでには、ポスター製作を瀬戸南高等学校、チラシを瀬戸高等学校が、プログラムは瀬戸中学校のそれぞれの美術部が参画し、住民に参加を呼びかけた。又、岡山瀬戸高等支援学校が製作した看板、案内板を会場設営に使用した。瀬戸中学校生徒はゴミ箱製作、配置のボランティア活動を展開し、また、テント設営にも協力し、大きな力となった。江西小学校の生徒代表は開会の宣言を行いました。 瀬戸南高等学校美術部のポスター製作をした生徒は、1年生から3年間製作を担当した想いを会場で語り大きな声援を送られた。 このように、子供から大人まで多くの人々の参画により大盛会となりました。
来場者数	2500人
天候	晴れ

②事業の成果(目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたかなど)

目的達成度はほぼ達成できたと思います。出演者が一生懸命、楽しそうに演舞していたこと。子供から高齢者まで一堂に会し交流があったこと。各学校、園の活動を見るため、多くの保護者家族が訪れ子供たちの姿に満足していたこと。他の学校、園の活動を間近に見た子供達が刺激を受け希望が芽生えたこと。町内会が一丸となって運営に取り組んだこと。開催に向けて多くの団体から協力が得られたことなどから江西学区内各地域の輪と和を育む素地が出来たと考えます。多くの方々がこの祭を支えてくださっているのが実感できます。

③事業における地域性

江西学区は旧瀬戸町の中心地で、多数の教育機関の立地を始め JR の駅、金融機関、行政機関、医療施設が多数存在し生活基盤は整い、災害も比較的少なく、農産物(米、果物)に恵まれ住みよい地域であると自負している。他地域から江西学区に住む学生も増えており、地域に於ける学生、生徒の数の割合は高くなっていることから、生徒と住民は平素の生活を通じて交流し、街に活力を与えてほしいと願っています。

④企画などの工夫

地域内には多数の児童、生徒、学生が生活していることから、これらの姿を住民に知っていただく機会を設けることにより、交流を促進し、輪と和を育む地域を目指す工夫をしました。企画の段階から町内会、学校、園、福祉関係団体などによる実行委員会を設置し、ステージ活動の企画を始めポスター、チラシ、プログラムの企画を各校美術部に依頼し盛り上げを図った。又、高等支援校の技術を生かし製作した案内板、掲示板を使用し、中学校はゴミ箱作りのボランティア活動始め、会場設営の協力を申し出るなど、学校側にも多大な協力を戴き、町内会も各地の特色を出した内容で来場者に楽しみを感じてもらえるよう工夫されている。

⑤事業の情報公開

補助事業の決定後に、関係機関による準備会を開催し、企画案を説明したことで、実施に向けて機運が高まった。2回の実行委員会で、各組織に祭り実施の情報が伝わり、より具体的に広報された。ポスター掲示、チラシ配布によって地域住民にその機運はより一層伝わった。報道機関にも後援の申請を行い3社から承諾をいただいた。又、学校、園を通じて子供たちの家族にもその情報が伝わり、多くの参加が得られた。公民館活動のビデオクラブも祭を題材として多くのクラブ員が撮影した。また、Oniビジョンの取材もあり後日放映された。

⑥今後の課題

参観者には、若い層(20~40歳)が多く見受けられたが、運営側は町内会役員を始め各団体の役員の対応が主だったため、高齢者(60歳台)が多く見られた。若い層は子育て、仕事と忙しく対応が難しいと感じるが、一部でも運営に加わる方策がないか課題である。

気候の変動が激しく、台風の影響も考えられる時期であるが、日程調整には苦慮することである。地域協働学校のメンバーである、保護者会、PTAなどの若い層の参画にも期待したい。

⑦その他(感想、PR、事業実施上の改善点など)

大勢の参観者が有ったことから、祭のPRは出来ていたと感じます。町内会のテントは自主的運営としているので、各町内会とも運営形態が異なっていたと思われるが、それぞれの工夫もあると思うので、各町内会長判断に委ねるのが妥当と感じる。会場準備、当日の運営体制などの手順については、工夫の余地もあると思うが細部にわたる統制は難しい。学校関係は行事に慣れていて、出演などはスムーズに進行したと思います。音響効果、ステージ進行の間合いのとり方などは祭の雰囲気作りに重要な事項である。町内会役員の方々は準備から当日の進行まで積極的に取り組み成功裏に終了した。事故(突風、火災、食中毒)対策も気がかりである。

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
平成27年1月23日	江西学区連合町内会総会において、助成申込書の内容説明
1月23日	岡山市区づくり推進事業助成申込書提出・・・3月30日決定通知
3月 7日	岡山市区づくり推進事業審査会
4月13日	連合町内会総会を開催し事業計画で祭りの実施を決定する
4月16日	社会福祉協議会福祉活動助成金申請書提出
4月17日	岡山市区づくり推進事業補助金交付申請書提出
4月17日	後援申請書提出・・・岡山市、山陽放送、山陽新聞、Oni
5月12日	区づくり推進事業「学園都市：生徒と住民のふれあい祭」準備会の開催 ・・・参加団体で運営委員会、実行委員会の設置を決定する
5月13日	区づくり推進事業補助金交付決定
6月25日	第1回実行委員会の開催 実行委員の就任と実施内容について検討 前年の例に基づき学校、園のステージ活動と各町内会自主テントの設営による物品販売、各福祉関係団体の広報活動などを計画する
7月30日	江西学区連合町内会連絡会で祭の内容について協議
9月 4日	第2回実行委員会の開催 各学校、園のステージ活動の内容確認と各町内会のテント出店計画の確認
9月 7日	露店等の開設届書提出・・・東消防署瀬戸出張所
9月 7日	催し開催届・・・岡山市保健所長
9月18日	会場設営などの準備を行う(13時～17時) 各町内会などの協力によりテントの設置、ステージ、観覧席、飲食席の設置
9月19日	いきいき江西学区第4回「学園都市：生徒と住民のふれあい祭」開催 8時～10時：準備 10時～10時30分：開会式 10時～15時：イベント 15時～17時：撤収

⑨事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
岡山市社会福祉協議会瀬戸支部運営委員会	11
森末町内会	17
寺地町内会	15
光明谷町内会	10
瀬戸町内会	20
下区町内会	20
沖区町内会	6
東江尻町内会	10
西江尻町内会	5
出屋敷町内会	6
旭ヶ丘連合町内会	20
肩脊町内会	15
笹岡町内会	15
観音寺町内会	5
宿奥町内会	15
菊山町内会	15
岡山市瀬戸地区民生委員児童委員協議会	5
岡山市愛育委員協議会江西学区愛育委員会	18
岡山市江西学区栄養改善協議会	5
岡山市老人クラブ連合会東区瀬戸中学校区	5
瀬戸町観光文化協会	5
IPU環太平洋大学	7
岡山県立瀬戸高等学校	19
岡山県立瀬戸南高等学校	8
岡山県立岡山瀬戸高等支援学校	20
閑谷ワークセンターせと	20
岡山市消防団東地区第4方面隊	30
瀬戸中学校区地域協働学校連絡会(中学校、小学校、幼稚園、各保育園:6団体) ハピネス 赤磐警察署	341

⑪ 収支決算書

◆収入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	215,000	193,700	市区づくり事業補助金
協賛金	65,000	70,000	協賛企業
負担金	110,000	96,796	15・単位町内会負担金
広告料			
寄付、他収入	40,000	27,000	寄付金
計	430,000	387,496	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
消耗品費	35,000	/ 25,882	事務用品・会場設常用消耗品他
食糧費	55,000	/ 50,109	会議飲料・当日飲料弁当他
印刷製本費	70,000	/ 72,930	ポスター・チラシ・プログラム
通信運搬費	20,000	/ 8,774	会議案内・大会案内他
手数料	0	/ 540	支払振込
使用料	80,000	/ 85,828	車両・放送設備・イス・机他
原材料費	10,000	/ 827	ポスター製作材料
委託料	30,000	/ 40,000	楽器・テーブル搬送・司会
工事請負費	0	0	
報償費	130,000	/ 102,606	出演団体
燃料費		0	
保険料	0	0	
計	430,000	387,496	

以上のとおり、収支決算の内容を報告します。

平成 27年 10月 5日 会計

監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成 27年 10月 5日 監事